

「みんと」開設!

西区西野九条四丁目にある「ふらっと」の隣に新しいグループホーム「みんと」が開所しました。



とてもきれいな建物ですね。

これまでもお世話になっている朝倉工建工業さんから、新築物件を賃貸でグループホームにどうかというお話をいただき、設計段階からこちらの意向を反映していただき、設計段階からリビングとダイニングは南向きの大きな窓から陽差しが入り、明るく広々としています。平屋作りバリアフリー仕様で、東側に居

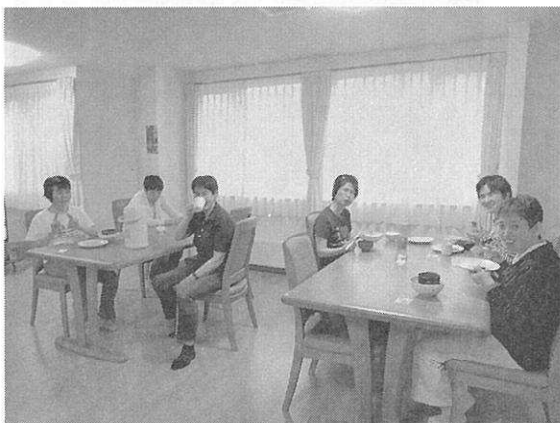
室四室、一西側にトイレ・台所付きワンルームが二室あるユニークなグループホームです。四月から六名の養生さんが暮らし始めています。女性ばかりのグループホームで皆さんとても喜んでいきます。町内会をはじめ地元の方々とのつながりも大切にしていながら、地域での暮らしを楽しめるようにしていきたいと思っております。
(この実サポートステーション 中上拓也)

西プロック グループホーム一元化!

昨年度より大塚さんのご好意により新しいグループホーム建設の話が出てから、この実支援センター、サポートステーションの間で打ち合わせを重ねてきました。養生の高齢化、金銭面、老朽化した建物、職員や世話人の配置、週末の体制、当直の回数等いろいろな課題を検討していき、養生の住む場所の再編成勤務体系の見直しを行い、平成二十七年四月よりこの実支援センターのグループホーム「この実らひふネット」とサポートステーションのグループホーム「ほほん」を一元化した住居数十三ヶ所、定員六十八名の共同生活援助事業所「この実らひふネット」がスタート

する事になりました。
一元化になり余暇や行事の考え方も支援センター、サポートステーションで打ち合わせを重ね、どういった形がやり易いか、検討している最中でありました。
始まってすぐには職員も養生も混乱はあったものの、現在は徐々に暮らし着いて生活ができていくように思います。

ホームを職員全体で見えていく事により、色々な目が入り、ホーム担当・ホームの責任者も緊張感を持ち、本人と向き合う、奇り味も忘れず、今まで以上に養生の生活の質の向上、住環境の整備、建物の維持管理を行っている、養生にとって住み易いホームを作りたいと思っております。
(この実支援センター 中島政章)



皆さんのくつろぎの場です。

défi

きゅうどうベーカリー デファイ
～バゲットがやきあがりました～

北の沢デイセンター 近藤聡一郎

所長に呼ばれたのは社会福祉士国家試験の翌日、忘れもしない一月二十六日のことでした。

「パン職人を呼んだ。ちやれんじでパン屋を始めるよ」

耳を疑いました。私は疲れているのかもしれない。満面の笑みを浮かべた所長は、その瞳の奥で笑っていませんでした。本気だ。その確信した私は、あろうことが即座に答えました。

「おもしろいですね」

こうして、私たちのパン屋開店作戦がはじまりました。

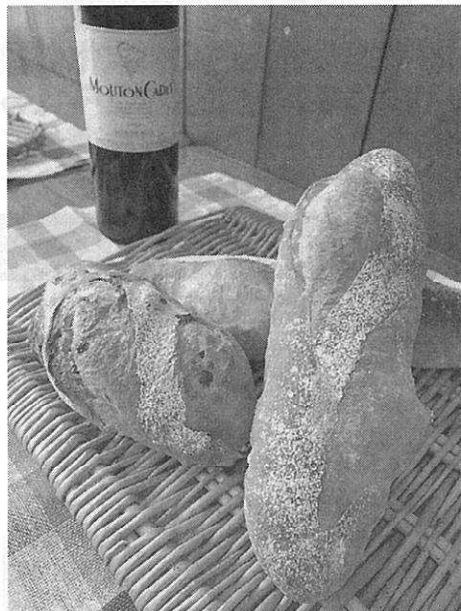
何だかすごい名前。パン職人、與那嶺言（よなね げん）は道産子でした。パン職人として札幌で勝負がしたかったという彼の頭の中には、勤務初日にして明確なプランが出来上がっていました。どんぐりで修業後、地方にある他法人で運営しているベーカリーで製造責任者を務めた経歴を持つ彼は、あらゆる種類のパンを焼くことができた。なんと、いうことでした。私たちはただ、彼のプランを実行するだけでよかったです。ある大きな問題を除いては、それは工房面積そのものであり、特にフランスパンの製造に色濃く影を落とすものでした。

本心では作りたかったフランスパンがまったく売れず、作っていたのは菓子パンばかりだったという地方での苦い経験が、余計に與那嶺を悩ませました。それでも、この斬新しいパン屋を立ち上げるのは札幌です。

工房に機材が搬入されるやいなや、彼は挑戦をはじめます。製法や工程、素材そのものの見直しを進めながら、時には駐車場の砂利まで工房に持ち込んで、何やら黒魔術的なこととに没頭している。オーブン十日前から七日間、ジヨブコー千歳成研修の為、名寄・旭川へ行っていた無責任な私が戻ると、香ばしく香り立つパンが鉄板に並んでいました。きれいに開いたクープ（切れ目）と鋭いエッジ（クープの端）に目を奪われ、ひとくち食べてみるとこんがりとしたクラスト（外皮）はパ

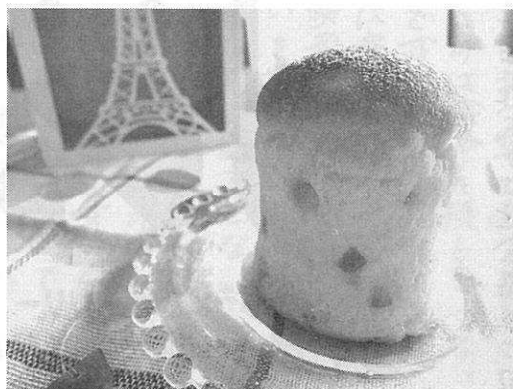
六月一日のオーブン以来、フランス生地がマカダミアナッツフランベリーは毎日売れる人気商品です。税込二八〇円という価格も好評で、この成果は私たちに大きな自信を与えてくれています。オーブンの前には一日の製造数を十五種類一五〇個程度と想定していましたが、今では二十種類二〇〇個程度にまで増え、売り上げも安定してきました。

オーブン前からメンバーさんおいっしょに製造しています。ピッツアのトッピングや、アップルパイにリンゴを包んだり、ミニクロワッサンを巻いているのはメンバーさんです。毎日、この三商品だけ売れ行きを気にしていません。六月十日には、ひよんなことからST



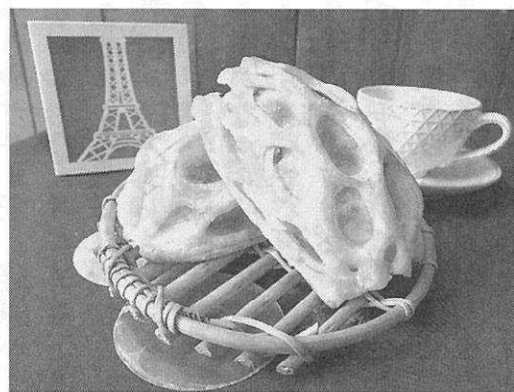
リパリで、気泡たっぷりなフランス（内層）はしつとりもちもちの食感でした。なまらうまい！見事なフランスパンの完成です。

そして、八月限定商品は「川沿マダム」の発
 熟フルーツです。パイの網目の向こうには
 オレンジピール、レーズン、アップル、チエ
 リーを練り込んだパン。異なる食感に甘みと
 酸味が折り返し重なる一品です。



「パンが売れない」と言われている、夏。夏期限
 定商品を発売します。
 七月の限定商品は「オレンジフロマー」ジ
 ュレでした。オレンジピールを練り込んだ生地
 で道産100%のフリームチーズを優しく包
 んだパンで口の中いっぱいになる爽やかな
 酸味が大変好評でした。

ターゲットはズバリ女性です。夏バテの貴
 女にひとくちのシエスタをお約束いたします。



イトインも始まり、いくつかのイベント
 にも出店しています。まずは一度、お店にお
 越しく下さい。毎日、焼きたてのパンをご用意
 して、皆様のご来店をお待ちしております。



defiとは、フランス語で挑戦。
 新鮮な素材が豊富な北海道の食文化に根差
 した、いろいろな料理に合わせられる
 “ごはんのような”パン作りを通して
 地域の食卓に笑顔と活気をお届けします。

おいしい!で地域とつながる

社会福祉法人 札幌この実会

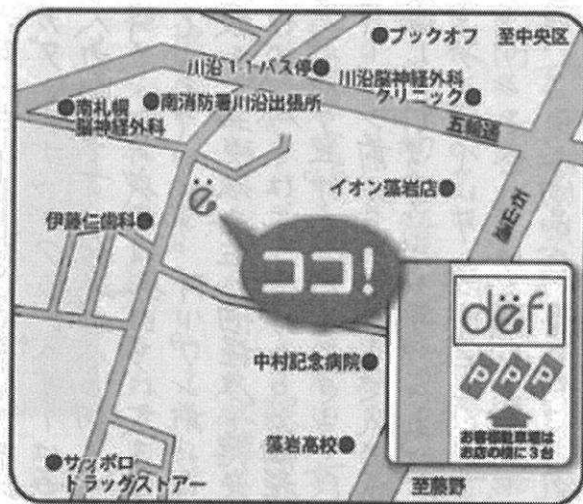
旧道ベーカリー-defi

〒005-0802

札幌市南区川沿2条2丁目5-37

URL : panya-defi.com

営業日 月 火 水 木 金
 11:00~売り切れ次第終了



こんなに おいしい!

TEL: 011-572-0141

今年も朝市が始まりました！

今年も六月から朝市が始まりました。地域の方の認知度も上がってきており、毎回たくさんのお客様に来てもらっています。

ここ数年は、野菜の集荷量も増やして、開催時間を延ばすことに努めていて、スタートすくになくなってしまっ物もありませんが、十一時までは営業しています。

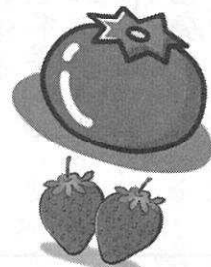
先日は、札幌路凸というタウン情報誌が、平和地区を特集するという事で、朝市の取材に採られ、記事は八月六日号に掲載されています。今後も、森生さんのお父さん、お母さんの力をお借りしながら、より良い朝市として地域に貢献していきたいと思っております。



地域の交流の場になっています。



朝市



9時30分～

※商品なくなり次第、終了となります。

サテライト2・6

(西区平和2条6丁目11-1)

開催予定

- ・ 8/22
- ・ 9/5
- ・ 9/19

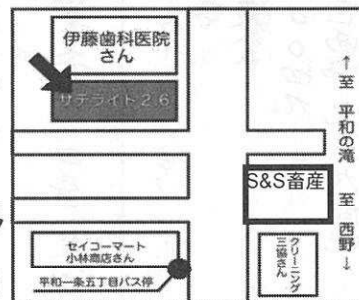
👍 鮮度バツグン!!

当日の朝に収穫した野菜を仕入れているので、とっても新鮮!!!

👍 どこよりも安く!!

みなさまに喜んでいただけるように、どこよりも安く!!を目指します!!

お問合せ：011-667-5420 (サポートステーション) 担当:菅原



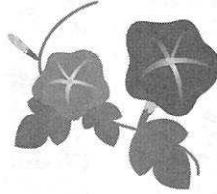
二二で一句

5月の句会より

きれいだね さくらの下で 記念写真 (千尋)

雨のあと みどりの葉っぱ あざやかに (裕二)

あちこちに たんぽぽ咲いて 春の色 (美智子)



おくりものありがとう

平成二十七年三月

平成二十七年五月

札幌市南区社会福祉協議会 榎の会
藻岩地区連合町内会 金丸富貴堂
富士ゼロックス北海道 あむ 朔風
トヨタレンタリース スーパー北の沢
さっぽろこどもさぽーと 中村清江
札幌こども専門学校 佐々木洋子
田中藍士 光塩学園女子短期大学

金一封

平成二十七年三月

平成二十七年五月

社会福祉法人札幌会 この実を支える会
札幌この実会職員互助会 佐々木洋子
この実親和会 前田サヨ (敬称略)

支える会のお知らせ

平成二十七年三月

平成二十七年五月

会費収入
寄付金収入

二四八、〇〇〇円
一、〇〇〇円

会費納入者・寄付者

神山谷子 角田恵子 宮坂節子
須田忠太郎 須田幸枝 川口初恵
田中育美 佐藤正義 佐藤淳子
野口賢治 平田公一 佐々木博子
住友朱子 川上一夫 川上公子
鈴木和子 鈴木信敬 鈴木信寛
松田清彦 柴田俊春 柴田康子
柴田麗 加藤孝 加藤絹枝
加藤二葉 加藤若菜 加藤勇哉オーレ
小山千津子 鈴木寿和子 山上和子

安藤敬郎 三和俊司 鈴木清和
鈴木和雄 益山益吾 寺口恵美子
木村昌次 木村友代 (敬称略)

編集後記

北海道に梅雨はないといわれていますが
ここ数年は北海道にも梅雨はある、と確信
しているのは私だけではないと思えます。
温暖化によるものでしょうか。地球は少な
狂ってきているような気がします。

この実支援センターの周りには、札幌の中
でも自然豊かな所です。裏山には熊や鹿が
住み(会ったことはありませんが)、キツ
ネやリスが時々顔を出し、へびも散歩し
ています。セミやウグイスの声も響きわた
り、フワガタやバッタもたくさんいます。
でも大量のテナントウムシやカマドウマ、カ
メ虫の臭いには何年いても慣れませんね。

(この実だより編集委員 口屋美子)

この実だより第二〇一号

編集者 加藤孝

発行者 札幌この実会

住所 〒063-0049

札幌市西区西野九六九番地

発行 平成二十七年八月一日